【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】令和7年3月25日(2025.3.25)

【国際公開番号】WO2022/197234
【公表番号】特表2024-511969(P2024-511969A)
【公表日】令和6年3月18日(2024.3.18)
【年通号数】公開公報(特許)2024-050
【出願番号】特願2023-556562(P2023-556562)
【国際特許分類】
E04F 15/02(2006.01)
F16B 5/10(2006.01)
F16B 12/10(2006.01)
F16B 12/02(2006.01)
【FI】
E04F 15/02 E
F16B 5/10 H
F16B 12/10 A
F16B 12/02 A
F16B 12/02 C

【手続補正書】
【提出日】令和7年3月14日(2025.3.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ビルディングパネルなどのパネルのセットであって、第１パネル（１）及び第２パネル（１’）を含み、当該第１パネル（１）及び第２パネル（１’）の各々は、主面（１７、１７’）、第１エッジ（４ａ）、反対側の第２エッジ（４ｂ）、前記第１エッジ（４ａ）に隣り合って随意的に垂直な第３エッジ（５ａ）、及び前記第３エッジ（５ａ）と反対側の第４エッジ（５ｂ）を備え、前記セットは、前記第１パネルの前記第１エッジを前記第２パネルの前記第２エッジに対して継ぎ目（Ｊ）でロックするように構成されるメカニカルロック装置を備え、前記ロック装置は可撓性舌部（３０）を備え、当該可撓性舌部（３０）は、前記第１パネルの前記第１エッジ（４ａ）で挿入溝（４０）に及び前記第２パネル（４ｂ）の前記第２エッジ（４ｂ）で舌部溝（２０）に位置し、前記可撓性舌部（３０）は細長い形状であり、前記長さ方向は前記第１エッジ（４ａ）に平行であり、前記可撓性舌部は、前記可撓性舌部（３０）の第１エッジ部分（３１）と第２エッジ部分（３６）との間に中央部分（３２）を含み、前記中央部分（３２）は、前記第１パネル及び前記第２パネル（１、１’）のロック位置において前記主面に対して垂直な第１方向（Ｄ１）に、前記第１エッジ及び前記第２エッジのロックのために、前記舌部溝（２０）と協働するように構成され、前記第１エッジ部分（３１）及び前記舌部溝（２０）は、前記ロック位置にある場合に前記第１パネルの前記第１エッジ（４ａ）及び前記第３エッジ（５ａ）において力（Ｐ’）が加えられ、前記第２パネル（１’）の前記第２エッジ（４ｂ）及び前記第３エッジ（５ａ）において別の力（Ｐ）が加えられるように構成され、前記第１エッジ部分（３１）は、前記挿入溝（４０）の底面（４３）に向かって押され、それは、前記第２パネル（１’）の前記第３エッジ（５ａ）を前記第１パネル（１）の前記第３エッジ（５

ａ）に対して相対的に変位させる（Ｒ）ことによって、前記第１パネル（１）からの前記第２パネル（１’）の分解を可能にし、前記力（Ｐ’）及び前記別の力（Ｐ）は、前記第１方向（Ｄ１）と反対の方向に加えられ、前記力（Ｐ’）が加えられる場合に前記第１パネルの前記第１エッジ（４ｂ）の最外部分に平行である軸（７４）の周りに曲がるように前記第１パネル（１）は構成され、及び／又は、前記別の力（Ｐ）が加えられる場合に前記第２のものの前記第１エッジ（４ｂ）の最外部分に平行である軸（７２）の周りに曲がるように前記第２パネル（１’）は構成される、

ことを特徴とするセット。

【請求項２】

前記第２パネル（１’）の前記第３エッジ（５ａ）が前記第１パネル（１）の前記第３エッジ（５ａ）に対して相対的に変位される（Ｒ）場合に、前記メカニカルロック装置のロックが解除されるように前記中央部分（３２）が前記挿入溝（４０）の前記底面（４３）に向かって押されるように、前記メカニカルロックは構成される、請求項１に記載のセット。

【請求項３】

前記第１パネル及び前記第２パネルが本質的に同一である、請求項１又は２に記載のセット。

【請求項４】

前記力（Ｐ’）が、前記継ぎ目（Ｊ）から距離（７７）をおいて且つ前記第１パネル（１）の前記第３エッジ（５ｂ）の上側且つ最外部分から距離（７８）をおいて加えられる、請求項１～３のいずれか一項に記載のセット。

【請求項５】

前記別の力（Ｐ）が、前記継ぎ目（Ｊ）から距離（７５）をおいて且つ前記第２パネル（１）の前記第３エッジ（５ｂ）の上側且つ最外部分から距離（７６）をおいて加えられる、請求項１～４のいずれか一項に記載のセット。

【請求項６】

前記第１エッジ部分（３１）は第１エッジ（８４）において可撓性部分（５３）及び凹部（５２）を備え、前記可撓性部分は、前記第１パネル及び前記第２パネル（１、１’）の組立及び分解の間に、前記凹部（５２）の底面（５４）に向かって変位するように構成され、前記第１エッジ部分（３１）は、前記第１エッジ（８４）とは反対側にある第２エッジ（８３）において、曲面（５１）を含み、前記曲面（５１）の軸は、前記第１エッジ部分（３１）の上面（８５）に対して本質的に垂直であり、前記曲面（５１）は、少なくとも部分的に前記凹部（５２）にわたって延在する、請求項１～５のいずれか一項に記載のセット。

【請求項７】

前記曲面（５１）は、ロック解除位置において前記可撓性舌部の長さ方向に第１長さ（５７）を有し、前記力（Ｐ’）及び前記別の力（Ｐ）が加えられる場合に、前記可撓性舌部の長さ方向に第２長さ（５７’）を有し、前記第２長さ（５７’）は第１長さ（５７）よりも大きい、請求項６に記載のセット。

【請求項８】

前記ロック位置における前記曲面（５１）は、前記可撓性部分（５３）によって前記舌部溝（２０）に向かって押されるように構成される、請求項６又は７に記載のセット。

【請求項９】

前記第１エッジ部分（３１）は、前記曲面（５１）に隣り合う突出部分（８７）を備える、請求項６～８のいずれか一項に記載のセット。

【請求項１０】

前記第１エッジ部分（３１）は第１エッジ（８４）において案内面（３４）を備え、当該案内面（３４）は、前記第２エッジ（８３）が前記挿入溝（４０）に向かって変位するように前記力（Ｐ’）及び前記別の力（Ｐ）が加えられる場合に前記舌部溝（２０）と協働するように構成される、請求項６～９のいずれか一項に記載のセット。

【請求項１１】
前記中央部分（３２）が前記挿入溝（４０）の前記底面（４３）に向かって押され且つ前記メカニカルロック装置のロックが解除されるように、前記舌部（２０）溝及び／又は前記第２パネルのエッジ面（２５）と協働する案内面として構成されうる曲がった外側エッジを有する曲がった舌部部分が得られるように、前記第２エッジ（８３）が前記挿入溝（４０）に向かって変位する場合に前記可撓性舌部（３０）は前記長さ方向に曲がるように構成される、請求項１０に記載のセット。
【請求項１２】
前記中央部分（３２）は第１エッジ（８４’）において可撓性部分（５３’）及び凹部（５２’）を備え、前記可撓性部分は、前記第１パネル及び前記第２パネル（１、１’）の組立及び分解の間、前記凹部（５２）の底面（５４）に向かって変位するように構成され、前記第１中央部分（３２）は、前記第１エッジとは反対側にある第２エッジ（８３’）において、本質的に直線状の表面（５５）を備え、前記第２エッジ（８３’）は、前記第１方向（Ｄ１）における前記第１エッジ及び第２エッジのロックのために、前記舌部溝（２０）と協働するように構成される、請求項１～１１のいずれか一項に記載のセット。
【請求項１３】
前記中央部分（３２）の前記第２エッジ（８３’）はロックエッジ（３５）を備え、当該ロックエッジ（３５）は、前記第１方向（Ｄ１）における前記第１エッジ及び前記第２エッジの前記ロックのために、前記舌部溝（２０）のロック面（２１）と協働するように構成される、請求項１２に記載のセット。
【請求項１４】
前記中央部分（３２）の前記第２エッジ（８３’）は、前記ロックエッジ（３５）に隣り合うロック凹部（３８）を備える、請求項１３に記載のセット。
【請求項１５】
前記ロック凹部（３８）は、前記ロックエッジ（３５）に隣り合う第１凹部面（９６）と、第２凹部面（９８）とを備え、前記第１凹部面（９６）は、前記可撓性舌部（３０）の中心線（９６）に対して鋭角（９４）に延びる、請求項１４に記載のセット。
【請求項１６】
前記第２パネル（１’）は、前記第２パネル（１’）の前記第３エッジ（５ｂ）が前記第１パネル（１）の前記第３エッジ（５ａ）に対して相対的に変位する（Ｒ）場合に、前記第２パネル（１’）の前記第３エッジ（５ｂ）の最外部分と平行である軸（７１）の周りに曲がるように構成される、請求項１～１５のいずれか一項に記載のセット。
【請求項１７】
第１パネル（１）の第１エッジ（４ａ）を第２パネル（１’）の第２エッジ（４ｂ）に対してロックするように構成される可撓性舌部（３０）であって、前記可撓性舌部（３０）は、前記第１パネルの前記第１エッジ（４ａ）の挿入溝（４０）に位置するように且つ前記第２パネル（４ｂ）の前記第２エッジ（４ｂ）の舌部溝（２０）と協働するように構成され、前記可撓性舌部（３０）は細長い形状であり、前記長さ方向は前記第１エッジ（４ａ）に平行であり、前記可撓性舌部は、前記可撓性舌部（３０）の第１エッジ部分（３１）と第２エッジ部分（３６）との間の中央部分（３２）を含み、前記中央部分（３２）は、前記第１エッジ及び第２エッジのロックのために前記舌部溝（２０）と協働するように構成され、前記第１エッジ部分（３１）は、第１エッジ（８４）において可撓性部分（５３）及び凹部（５２）を備え、前記可撓性部分（５３）は、前記第１パネル及び第２パネル（１、１’）の組立及び分解の間に前記凹部（５２）の底面（５４）に向けて変位するように構成され、前記第１エッジ部分（３１）は、前記第１エッジとは反対側である第２エッジ（８３）において、曲面（５１）を備え、前記曲面（５１）の軸は、前記第１エッジ部分（３１）の上面（８５）に対して本質的に垂直であり、前記曲面（５１）は、前記凹部（５２）にわたって少なくとも部分的に延在する、
可撓性舌部（３０）。